

# 全国養護教諭サークル協議会研究集会

地域に根ざした健康教育の創造をめざして ～子どもを見つめ、いのちを守り、未来につなぐ～



全国養護教諭サークル協議会（全養サ）は、1970年の発足以来、自主的に学ぼうとする人々が全国から集まり、互いに学び合い、実践を共有し、高め合う研究集会を継続して開催してきました。

今回の研究集会では、子どもたち一人ひとりに向き合いながら、いのちを大切にしながら、未来へとつないでいく歩みについて、皆さまとともに考えていきたいと思っております。語り合いを深めながら、学び合いつながりを育んでいく時間となれば幸いです。全国の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

日にち **2026年 8月 2日**

場所 **日本体育大学 世田谷キャンパス**

主催 **全国養護教諭サークル協議会**

## 記念講演

## 子どもに生じている問題をどう理解するか ～教育臨床における「みたて」の視点～

講師 **磯邊 聡 氏** 千葉大学教育学部教授



子どもに生じている問題をいかに理解するかは、現場に立つ私たちにとって切実な課題です。磯邊聡氏をお迎えし、教育臨床の視点から「みたて」の意義についてお話しいただきます。子どもを多面的に捉える視点に立ち、これからのかわりを深く考える機会としましょう。

講師プロフィール：千葉大学教育学部教授。横浜心療クリニック臨床心理士、東京都立多摩総合精神保健福祉センター思春期相談チーム相談員などを経て、平成10年より鹿児島大学法文学部助教授。現在は千葉市内の学校にスクールカウンセラーとしても勤務。専門はカウンセリング、臨床心理学。

論文：『学校臨床における『みたて』』（2017）援助者の心の傷つき-『治療的傷つきやすさ』をめぐって-（2023）「教育臨床における『不安が強いこども』について-理解と関わりをめぐる覚え書き-」（2025） 他多数

## 分科会

分科会名		分科会について
第一分科会	学校教育だからこそ できるかわり ～養護教諭の視点から～	子どもの発達を保障し、目の前の子どもを守りきるために、学校・家庭・地域社会等とどうやってつながればいいでしょうか。全養サではこれまで保健室の役割を明らかにしながら、どんな実践が求められているか、また養護教諭と学校組織について討論を深めてきました。今集会ではそれらの学びを汲みながら、「つなぐ」ということばをキーワードにして課題を抱えた子どもへのかかわりについて討論し実践を深め合います。
第二分科会	保健室で見せる 子どもの姿から ～実態のつかみ方とらえ方～	子どものからだと生活の実態、とりまく環境は深刻化、複雑化しています。それにともない保健室にはさまざまな課題をかかえた子どもたちがたくさんやってきます。全養サではこれまで「養護教諭として子どものからだの実態をどのようにとらえ、実践につなげていくのか」を討論で明らかにしてきました。今集会ではレポートや討論・実践交流をとおして、実態をとらえる視点や保健室での関わりについて学び合います。
第三分科会	健康認識を育てるために ～からだを学ぶ～	「からだ・いのち・性」のすばらしさに気づき、自分の健康や生活を見つめ、つくりあげていく力をもった子どもに育ててほしい……。これまで、全養サでは子どもがからだと生活の主体者になるための実践を積み上げてきました。しつけや行動変容を目的にするのではなく、子どもみずから納得して行動にうつしたいと思えるからだの学びについて実践に学びながら討論で明らかにしていきます。

※レポート名・内容は6月中に全養サホームページに掲載予定です。申し込み前には是非ご確認ください。

